

DIGITAL PIANO  
**P - 125 a**  
MIDIリファレンス

### 目次

<b>MIDIに関する設定</b> .....	<b>2</b>
MIDI送信/受信チャンネルの設定.....	2
ローカルコントロールオン/オフの設定.....	2
プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定.....	3
コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定.....	3
<b>音色一覧</b> .....	<b>4</b>
<b>エフェクトタイプ一覧</b> .....	<b>4</b>
<b>MIDIインプリメンテーションチャート</b> .....	<b>5</b>

# ミディ MIDIに関する設定

MIDIに関する各種設定や操作について説明します。

## NOTE

- ・楽器本体とコンピューターとの接続方法については、「コンピューターとつなぐ」をご参照ください。

## MIDI送信/受信チャンネルの設定

この楽器とコンピューターのあいだで演奏情報を送受信するためには、送信側と受信側でMIDIチャンネル(1~16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここで楽器本体からMIDIデータを送受信するときのチャンネルを設定します。

### MIDI送信チャンネルの設定

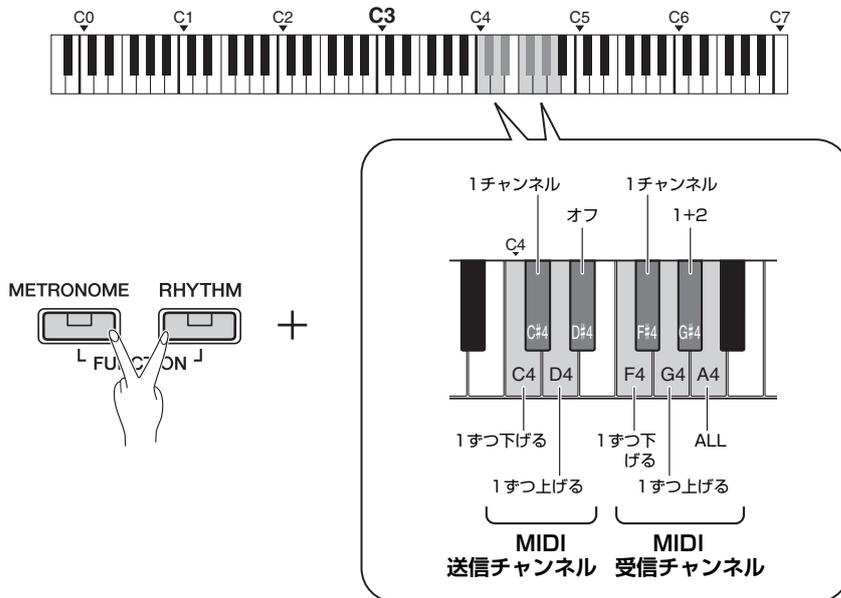
[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを同時に押したまま、C4~D#4鍵盤のどれかを押して、値を設定します。

初期設定：1

### MIDI受信チャンネルの設定

[METRONOME]と[RHYTHM]ボタンを同時に押したまま、F4~A4鍵盤のどれかを押して、値を設定します。

初期設定：ALL



**デュアル、スプリット、デュオのときの第2音色は**  
ここで設定したチャンネルの次のチャンネルで送信されます。(第1音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。)ただし、上記設定チャンネルをOFFに設定した場合は送信されません。

**ALLの場合は**  
「マルチティンバー」と呼ばれる仕様になっており、コンピューターから送信される複数のチャンネルのデータを、同時に受信します。複数のチャンネルを使って作られた演奏データを、この楽器で受信して再生させることができます。

**「1+2」の場合は**  
コンピューターから受信するデータのうち1、2チャンネルのデータだけを受信し、この楽器本体で再生することができます。

この楽器では、楽器本体のパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ(音色切り替え)などのチャンネルメッセージから影響を受けません。

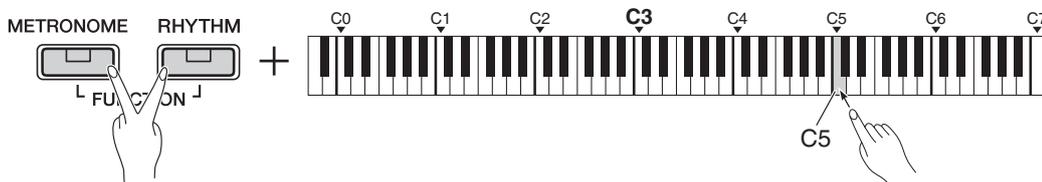
音色デモ曲/クラシック50曲の再生データはMIDI送信されません。

## ローカルコントロールオン/オフの設定

通常、この楽器の鍵盤を弾くと本体内部の「音源」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールオン」と呼ばれます。「ローカルコントロールをオフ」にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもこの楽器からは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏データはMIDI送信されますので、この楽器の音を鳴らさず接続したコンピューター側の音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをオフにします。

[METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンを同時に押したままC5鍵盤を押します。C5鍵盤を押すたびにローカルコントロールオン/オフが切り替わります。

初期設定：オン



## プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定

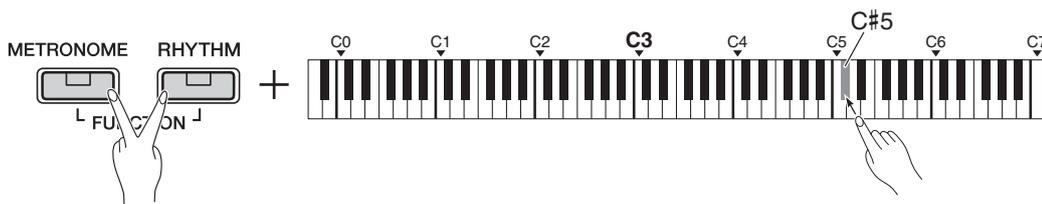
MIDIで送信側の機器から受信側の機器の音色を切り替える情報をプログラムチェンジと言います。たとえばこの楽器からプログラムチェンジを送信すると、接続したコンピューター上のシーケンサーソフトなど、外部音源の音色を切り替えることができます。(この楽器のパネル上で音色を切り替えたときに、切り替えた音色のプログラムチェンジナンバーが送信されます。)逆に、接続したコンピューター側から送信されたプログラムチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データの音色が切り替わります。(このとき鍵盤での手弾き音色は切り替わりません。)

このプログラムチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合(=接続したコンピューターと音色切り替えを連動させたい場合)と、できないほうが便利な場合(=接続したコンピューターと音色切り替えを連動させたくない場合)があります。音色切り替えを連動させたい場合はオンに、連動させたくない場合は、オフにします。

[METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンを同時に押したままC#5鍵盤を押します。C#5鍵盤を押すたびにプログラムチェンジ送受信オン/オフが切り替わります。

各音色のプログラムチェンジナンバーについては「音色一覧」(4ページ)をご覧ください。

初期設定：オン



## コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定

コントロールチェンジデータとは、MIDIデータのうち、演奏表現など(たとえば、ペダルの情報)に関するデータのことです。

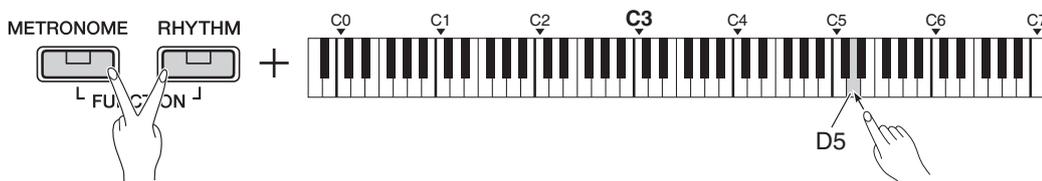
この楽器からコントロールチェンジを送信すると接続したコンピューター側の演奏をコントロールすることができます。(この楽器でペダルを操作したときなどにコントロールチェンジが送信されます。)逆に、接続したコンピューター側から送信されたコントロールチェンジをこの楽器が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データがそれに反応します。(このとき鍵盤での手弾き音は影響を受けません。)

このコントロールチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合と、できないほうが便利な場合があります。送/受信ができたほうが便利な場合はオンに、できないほうが便利な場合は、オフにします。

[METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンを同時に押したままD5鍵盤を押します。D5鍵盤を押すたびにプログラムチェンジ送受信オン/オフが切り替わります。

この楽器がコントロールチェンジとして扱える情報については「MIDIインプリメンテーションチャート」(5ページ)をご覧ください。

初期設定：オン



# 音色一覧

プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。  
たとえば、ライブ グランドのプログラムチェンジを指定する場合は、1の値になります。

音色ボタン	音色名	MSB (0-127)	LSB (0-127)	Program Change # (1-128)
PIANO (ピアノ)	グランドピアノ	108	0	1
	ライブ グランド	108	2	2
	バロード グランド	108	3	1
	ブライト グランド	108	0	2
E.PIANO (エレクトリックピアノ)	ステージ エレピ	108	0	5
	DX エレピ	108	0	6
	ピンテージ エレピ	108	1	5
	シンセ ピアノ	108	0	89
ORGAN (オルガン)	ジャズ オルガン	108	0	17
	ロック オルガン	108	0	19
	オルガン プリンシパル	108	1	20
	オルガン トゥッティ	108	0	20
CLV./VIB. (クラビ/ビブラフォン)	ハーブシコード8'	108	0	7
	ハーブシコード8'+4'	108	1	7
	クラビコード	108	0	8
	ビブラフォン	108	0	12
STRINGS (ストリングス)	ストリングス	108	0	49
	スロー ストリングス	108	0	50
	クワイア	108	0	53
	シンセ パッド	108	0	90
+BASS (+ベース)	アコースティック ベース	108	0	33
	エレクトリック ベース	108	0	34
	ベース & シンバル	108	1	33
	フレットレス ベース	108	0	36

# エフェクトタイプ一覧

## リバーブタイプリスト

タイプ	10進		16進	
	MSB	LSB	MSB	LSB
オフ	0	0	0H	0H
リサイタルホール	1	24	1H	18H
コンサートホール	1	4	1H	4H
サロン	2	24	2H	18H
クラブ	3	24	3H	18H

## DSPタイプリスト

タイプ	10進		16進	
	MSB	LSB	MSB	LSB
ダンパーレゾナンス	123	8	7BH	8H

